



いづみもゆく

列島展へ
GO! GO!

日本発掘 ～発掘された日本列島 2014～

日本では、毎年8千件近くの埋蔵文化財発掘調査が行われ、数多くの成果が日々蓄積されています。これらは一つとして同じものがなく個性的で、その地域ごとの文化や歴史を私たちに伝えてくれるものです。文化庁では、多くの人ができるだけ早く、発掘調査の成果を見ることができるよう、特に注目すべき出土品等を集め、全国を巡回して展示する「発掘された日本列島2014」展を開催しています。平成24年度には常陸大宮市から泉坂下遺跡出土の人面付土器が出品され、全国各地で好評を博したのは記憶に新しいところです。

平成7年度に始まった「発掘された日本列島」展は、今年度で20周年を迎えました。これを記念し、「発掘された日本列島」展では、日本を代表するこれまでの調査成果をまとめて展示する「日本発掘」という企画が開催されています。

「日本発掘」に集められた展示品は、縄文時代では^{さんないまるやま}三内丸山遺跡（青森県青森市）、古墳時代では^{おうじんてんのうりょう}応神天皇陵古墳（大阪府羽曳野市）、古代では^{たかまつづか}キトラ古墳・高松塚古墳（ともに奈良県明日香村）などといった、いずれも教科書に載るほど有名な遺跡ばかりです。

その中で、弥生時代としては^{よしのがり}吉野ヶ里遺跡（佐賀県吉野ヶ里町）と並んで、常陸大宮市の^{いづみさかした}泉坂下遺跡と^{おのてんじんまえ}小野天神前遺跡、那珂市の^{かいご}海後遺跡が選出されました。泉坂下・小野天神前・海後の3遺跡は、ともに弥生時代の再葬墓遺跡として知られていて、特に人面付土器が出土したことで高い評価を得ています。これら3遺跡からの3点の人面付土器が茨城県を代表して、全国で展示されることとなります。

「発掘された日本列島2014」展は、全国5カ所を巡回します。今後の活躍に期待しましょう。

【開催日程】

東北歴史博物館（宮城県）	5 / 31～7 / 9
東京都江戸東京博物館	7 / 26～9 / 15
堺市博物館（大阪府）	9 / 27～11 / 3
長野市立博物館（長野県）	11 / 15～12 / 21
九州国立博物館（福岡県）	1 / 1～3 / 1



▲小野天神前遺跡出土人面付土器



▲泉坂下遺跡出土人面付土器



▲海後遺跡出土人面付土器